

## 実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		九州女子大学		設置者名		学校法人 福原学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成23年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
家政学部	人間生活学科	40人	中一種免(家庭)	平成13年度	34人	12人	11人	3人	
			高一種免(家庭)	平成13年度			12人		
	栄養学科	90人	栄養一種免	平成17年度	84人	2人	2人	0人	
人間科学部	人間発達学科 人間発達学専攻	130人	幼一種免	平成22年度	—	—	—	—	
			小一種免	平成22年度			—		
			特支一種免(知・肢・病)	平成22年度			—		
	人間発達学科 人間基礎学専攻	60人	中一種免(国語)	平成22年度	—	—	—	—	
			高一種免(国語)	平成22年度			—		
			高一種免(書道)	平成22年度			—		
			高一種免(情報)	平成22年度			—		
入学定員合計		320人	合計		118人	14人	25人	3人	
大学名		九州女子短期大学		設置者名		学校法人 福原学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成23年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
	子ども健康学科 幼稚園教諭養成課程	80人	幼二種免	平成23年度	—	—	—	—	
	子ども健康学科 養護教諭養成課程	70人	養二種免	平成23年度	—	—	—	—	
	専攻科 養護教育学専攻	20人	養一種免	平成15年度	10人	10人	10人	5人	
入学定員合計		170人	合計		10人	10人	10人	5人	
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成24年4月1日現在の名称・定員である。          ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p>								

## 教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成24年7月10日（火）

実地視察大学：九州女子大学・九州女子短期大学

実地視察委員：大坪治彦委員、狩野浩二委員、和泉研二委員

## 【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教員組織、配置等については、概ね教職課程認定基準を満たしている。

## 【個別事項】

## 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教職に関する科目を担当する専任教員と教科に関する科目を担当する専任教員が所属する各学部学科が密に連携をすることを通じ、教員として必要な知識技能を確実に担保できるような体系的な教育課程を編成するとともに、教職を志す学生に対してきめ細やかな教職指導を実施していくことが重要である。このため、

- ・実質的には、シラバスの書き方をチェックする等の実務委員会となっている教職課程委員会について、形式的にも、実質的にも、学長のリーダーシップのもとで、教育課程の編成方針及び教職指導内容等について議論及び決定をする権能を有する組織として機能するような体制の整備
- ・建学の精神を戦略的に反映した大学全体としての教員養成像の明確化、及びその理念を具現化するための教育課程の構築

について、取組を進めていくこと。

## 2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

○教職に関する科目について、教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに、シラバスにおいて「含めることが必要な事項」が含まれていることが明確にわかるようにすること。

また、各科目名称についても、近年の課程認定の状況等を踏まえた適切な名称となるよう努めること。

○人間科学部人間発達学科人間発達学専攻は、幼稚園教諭、小学校教諭及び特別支援学校教諭の免許状の課程認定を受けていることに加え、保育士養成施設としての指定も受けている。

例えば、幼稚園教諭、小学校教諭及び特別支援学校教諭の免許状を取得しようとする場合の要修得単位は162単位であり、幼稚園教諭及び特別支援学校教諭の免許状に加え保育士資格を取得しようとする場合の要修得単位は172単位となることから、単位の実質化が図られているか否かはもとより、教員としての専門性が担保されているか否かについても疑念が持たれることから、例えば、取得免許状別のコース分け、及びコースごとのカリキュラム編成などの工夫を行い、教員養成の高度化を図ることを検討すること。

### 3. 教育実習の取組状況

- 人間科学部人間発達学科においては、地元教育委員会・学校と連携し、学生を学習サポーターとして学校現場へ派遣すると同時に学校が教育実習生を受け入れるという「グリーン・ティーチャー（学校ボランティア）事業」を実施しており、この事業を通じ、小学校教員の免許状取得希望者の大部分が地元の公立学校で教育実習を行っている（2012年度は約60名）。
- 中学校及び高等学校教員の課程においては、大部分の学生が母校において教育実習を行っているが、やむをえず母校実習を行う場合は、大学が、実習校と連携し、教育実習に関わる指導体制を構築するとともに、実習校に対して、事前に、大学としての教職指導方針について説明を行うなど、公正な評価となるよう努めること。

### 4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 学校ボランティア等の学校現場体験を積極的に教育課程に組み込み、教職を志す学生が、様々な機会を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握することができるような環境の整備と教職指導体制を構築するよう努めること。
- 『2013 大学案内』における人間科学部人間発達学科に置かれる2専攻の紹介において、課程認定を受けていない免許状についても、他専攻の科目を履修することにより、取得可能である旨の説明がなされている。  
 教職課程は、各学科等の目的・性格と免許状との相当関係について審査の上、その学科等において免許状の教科等の専門性が担保されることが確認されて初めて認定されるものである。  
 このような課程認定制度の趣旨を踏まえると、課程認定を受けていない免許状についてまで、他学科等の科目を履修することによって取得可能であることを大学案内において説明することは、大学の義務である「体系的な教育課程の編成」（教育職員免許法施行規則第22条）及び努力義務である「学生に対する適切な教職指導」（同規則第22条の2）の趣旨を没却する恐れが高いことから、記載内容を改善した上で、文部科学省に報告をすること。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○「グリーン・ティーチャー（学校ボランティア）事業」を、特定の教育委員会・学校のみでなく、その他の教育委員会・学校にも広げるべく、大学が積極的に、教育委員会・学校に働きかけを行っている姿勢もうかがわれる。

人間科学部人間発達学科人間発達専攻に所属する学生のみならず、教職に関心のある学生が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、引き続き、教育委員会や学校との連携・協力体制を強化・推進していくことを期待する。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○教職関連の図書については、最新のものも含め完備されているが、雑誌については、学生の目に触れやすい場所に配架する等の工夫がなされることを期待する。

○実践力のある教員を養成する観点から、理科実験室の実験器具の充実を検討すること。

7. その他特記事項

○学内に設置されているFD推進委員会が、「教員ハンドブック～授業方法について～」という教員向け冊子を作成しており、効果的な授業方法等を行おうとする大学の積極的な取組が伺われる。当該取組が、教職課程においても効果的に活用されることを期待する。